新旧 日高市水道ビジョン施策体系の比較

水道ビジョン２０１７

理念	方針	目　標	施　策	施策の内容	区分
笑顔と元気を支える安心いっぱいの水道	持続	水道施設の適正化	効率的な水道施設への再構築	水道施設の統廃合や再配置、配水管網の再編成	見直し
				適正規模へのダウンサイジングの取組み	見直し
	将来にわたり持続する水道		施設整備・更新の計画的な実施	新施設整備・更新計画を策定し、この計画に基づき、整備・更新事業を進める	見直し
			渇水時にも安定供給が可能な水源の確保	自己水源の有効利用や非常時における水量確保	継続
				埼玉県営水道からの受水量について、埼玉県営水道との調整を継続	継続
			環境への配慮	エネルギー効率の高いポンプへの更新、配水系統の見直しによる配水エネルギーの省力化	継続
				配管資材や建設副産物の削減	新規
		適切な維持管理	計画的な劣化調査	浄水場等の定期的な点検、補修・更新を随時行っていくことで、著しい破損や故障などによる機能の低下・停止を防止	継続
			漏水調査の推進	大きな漏水事故を予防するため、漏水調査を継続して実施し、高い有効率を維持する	継続
		運営基盤の強化	民間活用の導入検討	民間活力の導入を推進し（包括委託など）、業務の更なる効率化を目指す	見直し
			事務、管理の効率化	日常業務の効率化、対応の迅速化や情報提供の充実など水道使用者サービスの向上	見直し
			技術継承に向けた人材確保	事業経営や施設の運転・維持管理に必要な人材を確保	継続
				世代の空洞化によって技術継承が途切れないような体制の構築	継続
			持続可能な経営基盤の構築	業務の効率化、事業規模の適正化を図った上で将来の更新財源を確保するため、将来を見据えた料金体系へ、事業実態に応じた料金制度のあり方を検討	見直し
		サービスの向上	情報公開の充実	広報や検針のお知らせ、ホームページを通じ、水道利用者への説明責任を果たす	継続
			積極的な広報・広聴	水道施設見学会、出前講座など、水道使用者へ積極的にアプローチする	継続
			窓口・電話対応の充実	手続き処理の迅速化、水道利用者対応のサービス向上に努める	継続
		発展的広域化	緊急時における相互融通	緊急時における水融通について、県営水道と調整	継続
				緊急時における相互融通について、近隣事業体と調整	継続
			広域的な連携の推進	埼玉県の水道広域化検討部会を通じた広域連携による地域の共同・協力体制の検討、共同研修プログラムの開設など、共同で職員の技術力の向上を図るための取組を検討	新規
	安全	水質管理の強化	水源環境の保全	地下水の水質汚染への事前予防／事後対応の対策	継続
			水質検査・監視体制の充実	坂戸、鶴ヶ島水道企業団との共同水質検査体制の継続	継続
	安心できる水道		水質の管理水準の向上	水安全計画に基づく水質管理の徹底を図り、水質の管理水準をより高める	見直し
		浄水処理の高度化	原水水質に適した浄水処理	高麗本郷水源（浅層地下水） ・紫外線処理の導入検討	見直し
				北平沢水源・栗坪水源（浅層地下水） ・急速ろ過処理、濁度管理の徹底	見直し
				高萩水源（深層地下水） ・除マンガン処理、指標菌等の定期的な検査	見直し
		給水の安全性の強化	直結給水の推進	貯水槽水道から直結給水への切り替えの推奨	継続
				自家用井戸利用者に対する水道利用の推奨	継続
			貯水槽水道の衛生管理	貯水槽水道の設置者に対する申請時の指導、貯水槽水道の利用者への情報提供	新規
			給水装置の安全性の向上	指定給水装置工事事業者に対して、講習会の開催や技術指導など継続して指導	新規
	強靭	地震対策の強化	地震に強い水道施設の構築	武蔵台減圧場、横手ポンプ場に、必要な対策の実施	見直し
	災害に強い水道			武蔵台配水場は、老朽化・劣化が進行していることから、優先的に補強・改修	見直し
				薬品タンク、電気・計装盤等の転倒防止	継続
				非常時の機械設備・電気設備の電力確保	見直し
			地震に強い管路の構築	重要度の高い路線から優先的に耐震管への布設替えを進める	見直し
				配水管網の見直しを視野に入れた再編	継続
		危機管理の強化	災害時の応急活動体制の構築	具体的な危機管理マニュアル（応急復旧）の整備、緊急体制等の整備	継続
			災害・渇水時の応急給水体制の構築	具体的な危機管理マニュアル（応急給水）の整備、緊急体制等の整備（渇水を含む）	見直し
			住民への情報提供	災害対策、応急給水拠点や給水方法について、広報やホームページを通じて情報を公開	新規

現行計画

施　策	目　標	方針	理念
水源環境の保全	水質管理の強化	安心される水道	笑顔と元気を支える安心いっぱいの水道
水質検査・監視体制の充実			
高度浄水処理などの導入			
直結給水の推進			
水安全計画の策定			
情報管理システムの導入	適切な監視制御		
機場の計画的な劣化調査	適切な維持管理		
管路の計画的な漏水調査			
構造物の耐震診断・補強	災害対策の強化		
機械・電気設備の転倒防止			
機械・電気設備の電力確保			
耐震管への更新			
危機管理マニュアルの整備	危機管理の強化		
緊急体制・施設・設備の整備			
施設整備・更新の計画的な実施	運営基盤の強化	信頼される水道	
料金体系の見直し			
技術継承に向けた人材の確保			
業務支援システムの導入	維持管理の効率化		
経営・管理・施設の共同化			
第三者委託の導入			
配水系統の再編成	施設規模の適正化		
水道施設の統廃合			
受水量の調整			
窓口対応の充実	サービスの向上	満足される水道	
情報公開の充実			
積極的な広報・公聴			
エネルギー効率の改善	環境への配慮		
漏水調査の推進			
新エネルギーの導入			